



まもる!

東京都立多摩桜の丘学園
生活指導部より
令和5年12月18日発行
第6号校長 丹野 哲也

■ 本号では、第2回「いじめの早期発見・早期対応に向けた児童・生徒アンケート調査」の結果を報告いたします。調査の実施後「学校いじめ対策委員会」で内容・結果を検証し、本校でのいじめの重大案件は「0件である」ことを報告いたします。また、11月のふれあい月間(「心を育てる教育」)の取組を紹介いたします。今後も引き続き健全育成の充実に努め、「いじめ0」「体罰0」の学校づくりに全校をあげて推進してまいります。

いじめの早期発見・早期対応に向けた児童・生徒アンケート調査の報告

■ 調査の結果、各設問に対して「ある」「嫌な思いをしたことがある」などの回答は1件、御家庭からの回答票は2件でした。いずれも児童・生徒間の関わりの中での心配事についての内容についてのものでした。コミュニケーションのルールやマナーについて見守りながら、教職員一同指導・支援を継続してまいります。

■ 以上の内容について、「学校いじめ対策委員会」で検証した結果、今回のアンケート調査では、「いじめの重大案件」と認められる事案はなかったことを確認しました。

また、1月予定の第2回「学校サポートチーム」において、今回の調査結果を報告いたします。

■ 今後も各御家庭に個別の開示を行い、保護者の皆様により御理解・御納得をいただける調査を目指してまいります。

「やぎさん郵便」について

11月は、「ふれあい月間」健全育成取組の強化月間でした。取組には、「形に残るコミュニケーション」「日常生活学習の取組」「読書活動(学校図書館利用)」、「安全教育」と4つの柱があります。

「形に残るコミュニケーション」は、手紙を書いて自分の思いを伝える本校独自の活動です。手紙を書いて、校内ポスト(右写真)に投函すると、「やぎさん」の消印が押されて相手に届きます。自分あてに届く手紙はとても嬉しく笑顔一杯になります。また、手紙を家庭に持ち帰り家族と共に喜び楽しむ、これが「やぎさん郵便」です。今年度は11月だけで「148通」、4月～11月の累計「308通」のやぎさん郵便が投函されました。

「やぎさん郵便」のスタートは、平成29(2017)年12月に部門間交流の手段として誕生しました。以来、部門間の交流だけでなく、お互いの展示作品を見ての感想や、日ごろの感謝の気持ちを伝える手段などとして活動が広がっていきました。また、「やぎさん郵便」は、校内交流だけでなく、他校との交流にも活用されています。

「やぎさん郵便」ポスト(職員室前)



これからも、永く大切に育てていきたい活動です。

「心を育てる教育」ふれあい月間(11月)の取組 ～育てよう・咲かせよう笑顔の花～「自尊感情」や「自己肯定感」をはぐくむために

< I 小学部 > 多摩桜祭では、他学部の展示を鑑賞したり、出し物に参加して交流を深めたりしました。また、やぎさん郵便を活用して、作品の感想を手紙にして届けました。

< I 中学部 > 学校図書館を活用して読書活動を行いました。自分が好きな本以外にも、友達が借りた本の読み聞かせをすることで、本への関心を広げることができました。

< I 高等部 > 図書支援員さんとの交流を積極的に行いました。おすすめの本を教えてもらったり、読み聞かせしてもらったりすることを楽しみに、学校図書館の利用が定着してきています。

< 島田分教室 > 分教室ミュージアムを開催し、69名が来室してくださいました。得意なこと、大好きなことなど、一人一人の生徒の個性や特長が作品に表現されていて、素晴らしい展示発表でした。

< II 小学部 > 図書館利用のマナー「本を大切にする」「静かに利用する」を練習中です。自分が好きな本を見つけ楽しめます。興味が広がりました。

< II 中学部 > 聖ヶ丘中学校マラソン大会に、中学部から選抜メンバー9名が出場しました。大会に出場しない生徒たちも沿道から元気に応援し、出場者の気持ちを盛り上げ、完走までの道のりを後押ししました。

< II 高等部 > 「さくら運送」の活動で、地域のスーパーにて買い物の配達活動をおこないました。地域の方には大変好評で、桜運送の予定に合わせてお買い物にくるお客さんもいらっしゃいました。

